

## 2021年第61回ACCアワードで総務大臣賞/ACCグランプリを受賞しました

広告分野の日本最大級の賞である ACC TOKYO CRATIVITY AWARDS において、当社のレーザ網膜投影カメラ RETISSA® Super Capture とそのプロモーションビデオ「With My Eyes (\*1)」が、デザイン部門の最高賞である総務大臣賞/ACC グランプリと、クリエイティブイノベーション部門の ACC シルバー賞を受賞しました。

ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS は、テレビ、ラジオ CM の質的向上を目的に、1961 年より開催されてきた広告賞「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、2017 年よりその枠を大きく広げ、あらゆる領域におけるクリエイティブを対象とした広告分野の日本最大級の賞です。全 7 部門に今年は延べ 2348 本の応募がありました。

当社が総務大臣賞/ACC グランプリ(広告主 QD レーザ、広告会社電通)をいただいたデザイン部門は、毎年ハイレベルな作品が集まり、クリエイティブ業界で活躍する関係者の大きな目標となっています。また、クリエイティブイノベーション部門の賞は、革新性と有用性があり、社会に根付いて未来を作れるようなビッグ・アイデアとテクノロジーに与えられます。

デザイン部門の入賞作品リストと審査評はこちらをご覧ください:

[http://www.acc-awards.com/festival/2021fes\\_result/design.html](http://www.acc-awards.com/festival/2021fes_result/design.html)

[http://www.acc-awards.com/festival/2021fes\\_result/design\\_review/](http://www.acc-awards.com/festival/2021fes_result/design_review/)

審査員長の永井一史氏講評

「活発な議論を重ねながら、賞候補を入れ替えていったのだが、With My Eyes に関しては、一次審査の時から頭一つ抜けていて、そのままグランプリに決定した。昨年度のグランプリの分身ロボット「OriHime」もそうであったが、「インクルーシブな社会を実現するために、テクノロジーに何ができるか？」という問いが、今日のデザインの重要テーマなのだと改めて思った。常に見えたいわけではないというロービジョンの方々の思いに寄り添い、カメラというプロダクトに至ったところに、強く心を動かされた。このプロジェクトが、社会から注目を集めることによって、さらに大きな活動になっていくことを期待したい。」

クリエイティブイノベーション部門の入賞作品はこちらをご覧ください。

[http://www.acc-awards.com/festival/2021fes\\_result/ci.html](http://www.acc-awards.com/festival/2021fes_result/ci.html)

\*1)With My Eyes の YouTube 動画は次をご覧ください:

第 1 弾:動画 URL:<https://youtu.be/RSvwwqS9KOWI> (long 版) <https://youtu.be/p5blfs94Oys> (short 版)

第 2 弾:動画 URL:[https://youtu.be/ZM52dax\\_5yc](https://youtu.be/ZM52dax_5yc)

代表取締役社長菅原充談

今回の受賞は大変名誉なことと受け止めています。この栄誉は当社だけでなく、With My Eyes プロジェクトに関わってくださった、ロービジョン者・協賛企業・ビデオ制作スタッフの皆さんものです。このプロジェクトを通して大きなチームが出来上がったことを喜び、感謝しております。

半導体レーザのベンチャー企業である当社が、網膜投影技術を使ったロービジョンエイド製品を開発し始めてから8年になります。ロービジョン者の方々の声を聴き続けて、ようやくご希望と、それを叶える道筋が見えて参りました。今後は、視覚障害児の支援、視覚障害の予防にも網膜投影技術を応用していく所存です。